



夢実現・挑戦

津奈木中学校学校だより

令和8年8月28日

第8号

文責：校長 内場

2学期スタートにあたって —自分なりの「いい顔」で成長の秋を—



あいさつ・反応を大切に、積極的に行動！

今ここで限界を超えろ。それしか道はねえ！

周囲への感謝、当たり前前の大切さに気付いた。

生徒会は全員で創っていくもの。「結」の具現化。

8月28日、昨年度よりも4日早く2学期が始まりました。1学期の終業式には「全員が命を大切にして、そろって2学期のスタートが迎えられるように」と話しましたが、夏休み中、大きな事故やケガの報告もなく無事に2学期を迎えられたことを大変嬉しく思います。

この夏は、未曾有の災害となった「令和8年熊本地震」が発生しました。大きな揺れや避難所生活に不安を感じた人も多かったことでしょう。お隣の芦北町をはじめ、今なお不自由な生活を余儀なくされ、思ったような学校生活が送れない仲間がたくさんいます。一日も早い復興を祈るとともに、今こうして当たり前前の日常があることに改めて感謝し、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

さて、今年の夏の甲子園の開会式で、選手代表が語った『いい顔』をして野球をしよう」という言葉が心に残っています。真剣な緊張した顔、悔しさをこらえる顔、感謝があふれる満面の笑顔。状況によって「いい顔」の形は変わります。

行事が目白押しの2学期、そこには、たくさんの「挑戦」と「成長」の場面があります。生徒にはぜひいろいろな「いい顔」を見せてほしいと願っています。

猛暑に負けず駆け抜けた夏 —生徒たちの真剣な姿

夏休み中も、津奈木中の生徒たちは様々な場面で素晴らしい「いい顔」を見せてくれました。



*限界に挑んだ「駅伝練習」

厳しい暑さの中、早朝からグラウンドを走り込み、互いに声を掛け合いながら絆と精神力を高めました。

*主体的に取り組んだ「地域未来塾」

地域の指導者の皆様のご協力のもと、真剣な表情で机に向かい、自ら学びを深める姿が見られました。

*情熱を注いだ「部活動」

この夏で活動に区切りをつける「合唱部」は、あけぼの苑に歌のボランティアに出かけました。「からたちの花」などの歌を披露し、みなさんと一緒に楽しいひと時を過ごしました。《写真》

温かく見守り、励ましてくださった保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。

心と体の健康を支えるために

震災の影響や2学期開始に伴う環境の変化及び行事の緊張感などから、心や体に知らず知らずのうちに負担がかかるやすい時期でもあります。

「不安で眠れない」「なんとなくやる気が出ない」「イライラしてしまう」といった反応は、大きな出来事を経験した後のごく自然な心身のSOSです。決して一人で抱え込まず、周りの大人や学校を頼ってください。相談窓口等もぜひ活用してください。

～18歳以下のみなさんへ～

【実施期間】 8月26日(水) → 9月4日(金)

ひとり なやみ 一人で悩みごとをかかえていませんか、つらいときは相談してみてください！

チャットで伝えたい
チャット上でやりとりすることもできます

電話で伝えたい
電話で直接お話しすることもできます。
フリーダイヤル #9999 (0120-494949)

メールで伝えたい
メールで気持ちを伝えることもできます
「あなたはひとりじゃない」
メール相談フォーム

あなたに合った方法で相談することができます

孤独・孤立 支援
国民連携プラットフォーム